

■公開講座

バレエダンサー・岩田守弘の世界

講師

バレエダンサー・振付家

岩田 守弘

バレエ評論家・舞踊文化研究者

守山 実花



来年3月に「アナニアシヴィリ&グルジア国立バレエ」公演にゲスト出演する岩田氏。ボリショイ・バレエで踊る唯一の日本人ダンサーとして、現在どんなことを思い、活動をしているのか。来日公演の話を中心にバレエへの情熱を語ります。

★「ニーナ・アナニアシヴィリ&グルジア国立バレエ」公演スケジュール

「ニーナ・アナニアシヴィリ&グルジア国立バレエ 来日公演」

“ロミオとジュリエット” 3月 5日(金) 18:30 東京文化会館

3月12日(金) 18:30 ゆうぼうとホール

3月14日(日) 15:00 ゆうぼうとホール

問合せ: ジャパン・アーツぴあ 03-5237-7711 <http://www.japanarts.co.jp/>

日 時 2010年3月2日 火曜日 19:00~20:30

受講料(税込み) 会員3,360円 一般3,990円(入会不要)

場 所 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター(申し込みは4階受付)

※講師の病気や受講生が一定数に達しない場合などには、講座を延期または中止することがあります。
※お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 新宿
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱22号
tel 03-3344-1945 (教養)
<http://www.asahiculture-shinjuku.com/>

※講師紹介は裏面をご覧ください

<講師紹介>

岩田 守弘（いわた・もりひろ）

1996年バレエ界の雄「ロシア国立ポリショイ・バレエ」に入団。厳しいオーディションを受け入団を許可された日本人ダンサーであり、現在もソリストとして活躍。昨年行われた同団来日公演で喝采を浴びたことは記憶に新しい。NHK「プロフェッショナル」にも出演し、バレエへの情熱と真摯で謙虚な人間性が大きな反響を呼んだ。現在は新進の振付家としても活躍している。

1970年10月6日生まれ。9歳から岩田バレエスクール（父 岩田高一主宰）にてバレエを始める。

1981年東京新聞主催全国舞踊コンクール入賞。

1987年（社）日本バレエ協会主催 第6回全日本バレエコンクール第1位、文部大臣賞、東京都知事賞、東京新聞社賞、IBM賞 受賞。

1988年ソビエトバレエインスティテュートに入学。

1989年ローザンヌ国際バレエコンクール（東京開催）ファイナリスト。

1990年ロシア国立モスクワアカデミー舞踊学校留学アレクサンドルーボンダレンコ師事。

1991年USA国際バレエコンクール（ジャクソン市）銅賞受賞、（社）日本バレエ協会主催夏季定期公演にて最優秀賞受賞。国立ロシアバレエ団入団。

1992年全ロシアバレエコンクール”アラベスク”（ペルミ市）グランプリ、ミハイルーバリニコフ賞、受賞。国立劇場芸術大学（ギティス）入学。

1993年第7回国際バレエコンクール（モスクワ）金賞受賞

1995年ロシア国立ポリショイ劇場 研修生

1996年ロシア国立ポリショイ劇場 ソリスト

1997年村松賞受賞

1998年ダンスマガジン新人賞受賞

2000年バランシニーチャブキアーニ記念バレエフェスティバル グランプリ及び振付賞 受賞。国立劇場芸術大学（ギティス）教師科卒業。エブゲーニーヴァルーキン師事村松賞受賞。

2008年第2回国際バレエコンクール<ユーリー・グリゴロービッチ>振付賞受賞。

2009年ロシアのメドベージェフ大統領から「日露の文化交流の発展に大きく貢献し、ロシア芸術を広めた」として友好勲章を授与された。

守山 実花（もりやま・みか） バレエ評論家・舞踊文化研究者。清泉女子大学、お茶の水女子大学大学院で西洋美術史を学ぶ。バレエ専門誌、公演プログラム、DVD 解説等のほか、女性誌にも執筆。「ヴァンテース」（アセット婦人画報社）にて「守山実花のバレエ三昧」を連載中。著書「バレエに連れてって」「食わず嫌いのためのバレエ入門」、監修著「びあ バレエワンダーランド」など。明治学院大学、織田学園、都民カレッジなどで講師を勤め、現在は清泉女子大学社会人講座講師。